

選定物件

世界遺産一覧表への記載に向けて今年度推薦することが適当と思われる世界文化遺産の候補物件として、「佐渡島の金山」を選定する。

選定理由

今年度に世界文化遺産への推薦を希望する物件は、平成30年度及び令和元年度の文化審議会答申において「『北海道・北東北の縄文遺跡群』に次ぐ案件として、有力な推薦候補案件となり得る」とされた「佐渡島の金山」であった。

文化審議会は、今年度の推薦候補について、「世界文化遺産に推薦する資産を選定する基準」（令和3年8月11日文化審議会世界文化遺産部会決定）に照らして検討を行った。

その結果、「佐渡島の金山」は、推薦書の提出までに、読み手にとってわかりやすい表現となるよう推薦書案の記述内容について一部修正すべきという課題はあるものの、全体として顕著な普遍的価値が認められ得ると考えられ、かつ、構成資産は十分な保護措置を受けていることから、今年度推薦することが適当と思われる世界文化遺産の候補物件として、「佐渡島の金山」を選定する。